



令和2年度 印西市家庭教育学級だより

かてきょう通信 NO. 11

令和2年 10月 下旬発行

ほめ方・しかり方、どうしてる？

10月中、感染拡大防止の工夫をしながら、運動会を実施した園や学校も多かったようです。保護者の参観ができない場合もあったかと思いますが、この時期、お互いに辛抱しながら、できる範囲で、子どもたちを見守り、応援してまいりましょう。

さて、家庭教育学級が始まったところでは、様々なテーマを取り上げて、学習を進めていただいています。健康、安全、趣味、そして、『子育て』。中でも、「ほめ方、しかり方」について知りたい、という保護者のみなさんが多くいらっしゃいます。日々、わが子と向き合っ、子育て真ただ中の保護者のみなさんにとって、身近で重要な内容ですね。

そこで、「はっ！」とするフレーズがあった本を紹介します。

『自分でできる子に育つ ほめ方・しかり方』（島村華子 著）という本からの抜粋です。

「すごいね」「上手！」「やさしいね」「お利口さんだね」のような、**表面的なほめ方**だと、

- ① ほめられないと自信がもてず、外部からの承認でしか自分の価値を見出せなくなる。
- ② ほめられるためだけに行動するようになり、せっかく楽しいと思っていたことにも意義を感じなくなってしまう。
- ③ 周囲からの評価が下がることを恐れ、失敗を避けるためにチャレンジすることを躊躇（ちゅうちょ）するようになる。
- ④ いつも「上手！」と言われ、頑張らなくても良いと感じるようになり、努力をして何かを無しとげることの必要性を感じなくなる。

ということで、ほめるときのポイントは、次の3つだそうです。

- I 成果よりも、プロセス（努力・姿勢・やり方）をほめる。
- II 具体的にほめる。
- III 質問する。

さあ、ご自身のほめ方をちょっと振り返ってみましょう。そして、少し意識してみてはいかがでしょうか。「しかり方」は、次回お伝えします。



◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会 生涯学習課 推進係

（担当 渡辺・海老原）

【電話】0476-33-4713

【Fax】0476-42-0033